

# TTC 提案山行実施記録表

2012年10月16日 報告者: 坂本 達治 (1/2)

山行名	北アルプス 笠ヶ岳 [2,898m/岐阜県]									
実施日	2012年年10月6日[土]~10月8日[月] 2泊3日 マイカ利用									
天候/参加人員	天候: 実行欄記載 レベル: ★★★ 参加者: 申込9名/実施5名(男2名/女3名)									
パーティスタッフ	CL/計画:、SL/写真:、会計:、救護: ドライバ:(正)/(副) <span style="float:right">スタッフ名削除</span>									
参加メンバ	<span style="float:right">氏名削除</span>									
費用 一人あたり: <b>26,400円</b>	[交通費]マイカ使用料:560km*10=¥5,600、ドライバ謝礼:@5000*往復=¥10,000、 ガソリン代:560km/5*@150=¥16,800、高速道路代[安房峠道路]:@400*往復=¥800 [相模湖IC~松本IC]:@2,000*往復=¥4,000、 ロープウェイ(新穂高温泉~鏡平高原):@200*2名[片道]=¥400									
TTCカンパ金 <b>900円</b>	[宿泊費]鏡平山荘:@8800*5名=¥44,000、笠ヶ岳山荘:@9,000*5名=¥45,000 [雑費]温泉入湯料:@700*5名=¥3,500、通信費+共同装備(カスカートリッジホン):¥1,000、 TTCカンパ金:¥900									
歩行/行動時間	10/6[土]:新穂高~鏡平小屋			10/7[日]:~笠ヶ岳山荘			10/8[月]:~新穂高温泉			
	歩行時間	休憩時間	行動時間	歩行時間	休憩時間	行動時間	歩行時間	休憩時間	行動時間	
	ガイドブック	4:30		5:30			6:05			
	計画	5:30	1:20	6:50	6:10	2:10	8:20	5:50	0:55	6:45
	<b>実行</b>	<b>4:25</b>	<b>1:40</b>	<b>6:05</b>	<b>6:01</b>	<b>2:07</b>	<b>8:08</b>	<b>5:58</b>	<b>1:04</b>	<b>7:02</b>
実行コースタイム記録										
<b>10/6(土)</b>	安房峠道路 (0:55) 厚木市内===相模湖IC===談合坂SA===諏訪湖SA===新穂高温泉BT===登山者用駐車場-----新穂高温泉BT---									
	3:00	4:00	4:07-20	5:35-6:00	7:55		8:15		9:10-15	
	1:20		0:25		0:47[昼食]		0:15			
	---小休止---	ワサビ平小屋	---小池新道分岐---	---小休止---	秩父沢出合	---	ボコ岩	---		
	(10')	10:45-11:00	11:25	(38')	12:50		13:05			
	0:23		0:30		0:45					
	---小休止---	イ外リヶ原	---小休止---	シンウドヶ原	---小休止---	鏡平山荘				
	(7')	13:35	(10')	14:15-25	(10')	15:20				
<b>10/7(日)</b>			1:07		0:13	0:17		0:51		
	起床===朝食===	鏡平山荘	---小休止---	弓折岳乗越	---弓折岳---	大ノマ乗越	---小休止---			
	4:30	5:00- 5:57 出発	(3')	7:07	7:20-30	7:47-51	(7')			
		0:46		1:08		0:35	0:40			
	---大ノマ岳---	---小休止---	秩父平	---Coffee Break---	笠新道分岐	---昼食---	抜戸岩	---		
	8:49-55	(14')	9:55	(27')	11:30-35	(30')	12:40			
		0:14	0:10							
	---笠ヶ岳山荘---	笠ヶ岳	---笠ヶ岳山荘---							
	13:20-35	13:49-55	14:05							
<b>10/8(月)</b>			0:34	0:38		1:08				
	起床===朝食===	笠ヶ岳山荘	---抜戸岩---	---小休止---	笠新道分岐	---Coffee Break---	杓子平	---		
	4:20	5:00 5:58 出発	6:32	(10')	7:20	(22')	8:50			
	2:43		0:55	(車回収2名)	[ロープウェイ]					
	---小休止---	笠新道登山口	---新穂高温泉BT---	---新穂高温泉---	鍋平高原	---登山者用駐車場---				
	(11'*2)	11:55-12:05	13:00							
	(待機3名)									
	===新穂高温泉BT===	ひがく(飛岳)の湯	===諏訪湖SA=====	相模湖IC=====	厚木					
	14:03ピックアップ	14:08-16:00	18:45-19:00	21:10	22:20					

今回の参加者5名中、南ア縦走の参加者が4名、1週間前に実施された餓鬼岳の参加者が3名と今夏のビッグ山行ではお馴染みのメンバ同士の構成で、和気藹々とした雰囲気での山行となった。

**10月6日[土]** 天候:晴れ時々曇り 厚木市内の各所をピックアップして、早朝というより深夜3:00の出発。数日前のテレビのニュースでは立山室堂の紅葉が伝えられており、「今週末がピーク」とのことで、天候についてもまずまずの予報で、大いに期待が持てる。3連休初日であり、ある程度の渋滞を覚悟したが、中央高速はスムーズに流れ、予定よりかなり早く推移していた。松本ICを降りてからも特段の渋滞に巻き込まれることはなかったが、上高地へのターミナルとなる沢渡を7時頃に通過する際にはあちこちの駐車場で駐車待ちの車が長蛇の列をなしている。我々はその横を涼しい顔で通過していったが、ここで目的地である新穂高温泉も紅葉のピークを迎えている訳だから同様に駐車場が一杯で入れないのではないかと不安になる。現地にて予定より30分以上早く到着すると、長蛇の列はないもののやはり蒲田川河原の無料駐車場は満杯で、ロープウェイを利用する日帰りの一般観光客と数日滞在する登山客の駐車場は明確に分けられていた。「登山者用の無料駐車場がある」とのことで、あっちへ行け、こっちへ行けと振り回されながら、鍋平の無料駐車場をやっと探し出してそこから新穂高温泉登山口までテクテク歩いて、1時間以上のロスタイムとなった。紅葉期ハイシーズンであり、もっと慎重な確認が必要であったと、いたく反省させられた。

登山口から1.5時間ほどなだらかな林道を歩いてワサビ平小屋に到着。小屋前の湧き水を引いた水槽に林檎、バナナ、胡瓜などがプカプカと浮かんでおり、ほとんどのメンバがトマト(¥200/個)を戴いた。よく冷えてとても美味しいトマトで、空腹を適度に満たしてくれたこともあって元気がモリモリ沸いてきた気分になった。小池新道への分岐を過ぎるとそれまでのダラダラ道から急な登りに変わり、本日の目的地である鏡平山荘まで、およそ800mの高低差を登っていかねばならない。今回のチームは途中で出会った人達と抜かれたり追いついたりしながら、歩くスピードがカメより遅くナメクジより早いでんでん虫から、『デンデン号』と名づけて、とにかくゆっくり歩くことを心掛けて歩を進めていった。標高をかせいでいくと紅葉がドンドン素晴らしくなっていく。秩父沢出合、イタドリヶ原、シシウドヶ原を經由して山荘前にある鏡池に到着。風もなく鏡池は鏡面となり、眼前に広がる槍ヶ岳～奥穂高岳連山のスカイラインを映し出している。槍の横に可愛く収まっている小槍や、南岳～北穂高岳の間の大キレットが湖面にクッキリと映し出されているのがとても印象的であった。一昨年に槍を、また、昨年は北穂～奥穂～前穂を制覇したSLは残る大キレットを来年は狙うと、ここで強く心に決めたようである。山荘はほぼ満杯であったが、我々は5人に6人用小部屋をあてがっていただき、すし詰め状態から開放される恩恵を賜った。荷物の整理を終えてひと段落すると、山荘前のテーブルで生ビールを片手に早速、本日の反省会となる。ほんの少し小雨がパラついたと思うと温度がドンドン下がっていくのが肌で感じられ、フリース、レインウェア(上下)、手袋 etc.と持っているものはほとんど全て着込んで、それでもアルコール片手の語り合いが続き、夕食までの時間を楽しく過ごした。

**10月7日[日]** 天候:晴れ後曇り 空が白み始めると槍・穂連山が真っ白く染まっているのにいきなり驚かされた。約2300mの鏡平に雪はないことから推定すると標高2700m位から上が雪となっているようである。恐らく今シーズンの初冠雪と思われる。昨日の夕方の急激な冷え込みがこの雪化粧につながったものであり、素晴らしい紅葉と雪景色を一晚で味わうことができ、何だかとても得した気分になった。弓折岳乗越からは笠ヶ岳に向かって尾根歩きのコースとなるが、雲の切れ間から時々見え隠れする笠の頂上も白く染まっているのが分かる。尾根を境に南側が紅葉もしくはハイ松の緑一色なのに対し、北側の斜面はガレており、見事なコントラストを随所で堪能することができた。

笠ヶ岳山荘からは目の前に笠の山頂が見えるはずであるが、残念ながら雲に覆われている。一息ついてから空身でアタックし、15分ほどで山頂に立つことができた。予想通り展望はなかったが、羽毛の一部が白く生え変わり始めている雷鳥のお出迎えを受けた。人懐っこい姿がいつも愛くるしい。

**10月8日[月]** 天候:晴れ 3日目の朝は最高の天気にも恵まれた。槍・穂のスカイラインを昨日の鏡池でも十分に堪能できたと思っていたが、遥かに高レベルで山荘前に広がっている。日の出が5:50頃で大キレットのところからご来光を拝むことができるということで見守った。朝日に真っ赤に染まったスカイラインは言葉には表わせないほどに素晴らしく、槍、大喰、中、南、大キレット、北穂、濁沢、奥穂をはっきりと確認することができる。'09年7月に燕岳～常念岳～蝶ヶ岳の表銀座を歩いたときには生憎の天候で荘厳な槍・穂連峰を全く拝むことができなかったが、笠からは丁度反対側の角度で十二分に堪能することができた。今回訪れた笠ヶ岳の奥(北方)には鷲羽岳、水晶岳、黒部五郎岳、雲の平…と素晴らしい北アルプスの山々が連なっている。次の機会に是非訪れてみたい!

笠新道はうわさ通り急な登山道が続く。ここを登るとするとかなり息が上がってしまうだろうが、我々は「デンデン号がきました」と言いながらも軽快に下っていく。天候に恵まれると、こうも快適に歩けるものかと、8月に実施して雨に祟られたビッグ山行が恨めしく思い起こされる。下山後、ひがく(飛岳)の湯で汗を流し、ここでチョット奮発して“飛騨牛焼肉定食”を皆で頂いて、帰途の人となる。3連休最終日で帰りも渋滞が心配されたが、談合坂SA～上野原PA間で1時間ほどの渋滞に巻き込まれたものの、さしたるトラブルもなく、ほぼ計画通りに厚木に帰着することができた。

5名のメンバーが1台の車に乗り込んでのマイカー山行で、いつも和やかな雰囲気での山行を終えることができました。皆さまのご協力に感謝申し上げます。